(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。
㋐ 身の回りにあるものの形に関心をもち，丸や三角，四角という名称を知ること。
㋑ 縦や横の線，十字，△や□をかくこと。
㋒ 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して，分類したり，集めたりすること。
(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
㋐ 身の回りにあるものの形に関心を向け，丸や三角，四角を考えながら分けたり，集めたりすること。

C　測定
ア　身の回りにある具体物の量の大きさに注目し，二つの量の大きさに関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。
㋐ 長さ，重さ，高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。
㋑ 二つの量の大きさについて，一方を基準にして相対的に比べること。
㋒ 長い・短い，重い・軽い，高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること。
(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
㋐ 長さ，重さ，高さ及び広さなどの量を，一方を基準にして比べることに関心をもったり，量の大きさを用語を用いて表現したりすること。

D　データの活用
ア　ものの分類に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。
㋐ 身近なものを目的，用途，機能に着目して分類すること。
(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
㋐ 身近なものの色や形，大きさ，目的及び用途等に関心を向け，共通点や相違点を考えながら，興味をもって分類すること。
イ　同等と多少に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。
㋐ ものとものとを対応させることによって，ものの同等や多少が分かること。
(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
㋐ 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し，多少を読み取って表現すること。
ウ　○×を用いた表に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。
㋐ 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。
㋑ 簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。
(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
㋐ 身の回りの出来事を捉え，○×を用いた簡単な表で表現すること。

〔数学的活動〕
ア　内容の「A数と計算」，「B図形」，「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については，次のような数学的活動に取り組むものとする。
(ｱ) 身の回りの事象を観察したり，具体物を操作したりする活動
(ｲ) 日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動
(ｳ) 問題解決した過程や結果を，具体物などを用いて表現する活動

○３段階
(1) 目　標
A　数と計算
ア　100までの数の概念や表し方について理解し，数に対する感覚を豊かにするとともに，加法，減法の意味について理解し，これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。
イ　日常の事象について，ものの数に着目し，具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え，表現する力を養う。
ウ　数量の違いを理解し，算数で学んだことのよさや楽しさを感じな